

アメリカ合衆国大統領
バラク・H・オバマ 閣下

貴国が、9月4日および10月3日に、ニューメキシコ州のサンディア国立研究所で核兵器の性能を調べる新たな実験を行っていたとの報道に接しました。

当市では1982年に核兵器廃絶平和都市宣言をして以来、被爆の恐ろしさと、被爆者の苦しみを人々に訴え続けるとともに、再び地球上に広島・長崎の、あの惨禍が繰り返されることのないよう、平和を愛する世界の人々と共に、核兵器廃絶と恒久平和を願ってまいりました。

2010年、オバマ政権下で初めて核実験が行われてから、今回で既に12回目の核実験となります。貴国の核実験に対して、再三にわたる抗議や中止要請を行ってまいりました。しかしながら、繰り返し行われる核実験は、貴国が今後も核兵器を保有する意思があるとみなされる行為であります。

貴国の行動は、被爆者や平和を願う習志野市民を落胆させ、核兵器廃絶への道を逆行するものであり、誠に遺憾であります。貴国をはじめ核保有国は自らの責務として、世界の平和と安定の構築に向けて積極的に核兵器廃絶に取り組むべきであります。

ここに、習志野市民を代表して、強く抗議し、貴国が、被爆者の思いを十分に理解し、世界の核兵器廃絶と恒久平和の実現に向けて、先導的な活動をされることを、強く要請いたします。

2014年11月11日

千葉県習志野市長 宮本 泰介